



資料提供年月日	令和4年9月13日
問い合わせ先	岡山芸術交流 実行委員会事務局
	電話 086-221-0033
担当者	副主査 児玉 副主査 安東

広 報 連 絡

- 1 件 名 岡山芸術交流2022パブリックプログラム
「公募事業」参加事業が決定しました
- 2 内 容 地域の方々に岡山芸術交流2022に、より親しんでもらい、一緒に盛り上げていただくため、岡山県内において実施される企画を公募し、選考の結果、参加事業を決定しましたのでお知らせします。なお、岡山芸術交流において、公募によるパブリックプログラムを実施するのは初めてです。
- 3 概 要 募集事業：岡山芸術交流2022の開催期間中（令和4年9月30日～11月27日）に、岡山県内において実施されるもの
募集期間：令和4年6月1日～8月15日
応募総数：15件
選考基準：事業の企画内容、効果、実効性の観点から選考
採択件数：6件
助成額：10/10（上限30万円）
- 4 その他 各事業の開催日時等、概要については別紙にてご確認ください。

岡山芸術交流2022 概要

タイトル：Do we dream under the same sky 僕らは同じ空のもと夢をみているのだろうか
会 期：2022年9月30日(金)～11月27日(日) ※月曜日休館
会 場：旧内山下小学校、天神山文化プラザ、オリエント美術館、林原美術館、岡山城ほか
作 家：28組
主 催：岡山芸術交流実行委員会（岡山市、公益財団法人石川文化振興財団、岡山県）

岡山芸術交流2022) 公募採択事業一覧

事業実施主体	開催日時 (予定)	事業名	概要
Interdisciplinary Art Project Kobe (IAPK) 実行委員会 韓成南	10月8日 (土)、 9日 (日)、 10日 (月・祝) 10:00-19:00	IAPK 2022 in Okayama 拡張現実 (AR) で見る ショートムービー 制作ワークショップ	ワークショップ参加者が、岡山芸術交流2022の展示会場をリサーチ後、ディスカッションしながらショートムービー (AR 映像) を制作。その映像は、商店街等市内の各店舗前、または岡山芸術交流の展示会場に設置された写真を専用アプリで読み取ると、まるで写真が動き出すかのような拡張現実 (AR) 映像として見るができる。岡山芸術交流2022にお越しの方も、各会場を移動中に、宝探しのように写真を見つけ、短い動画を見ることができる。
一般社団法人 ノマドプロダクション 橋本誠	10/16 (日) 14:00-16:00	アートプロジェクトを 「伝える」ラボin岡山	アートプロジェクトや地域の魅力を写真や文章で伝えるための、基礎的な知識や事例をカジュアルなトークで紹介。参考書籍やZINE等の閲覧コーナーも設置。実際に「岡山芸術交流」期間中に岡山のまちを取材するラボメンバーも募集しワークショップも行う。 講師: 影山裕樹 (合同会社千十一編集室 代表) 講師・ファシリテーター: 橋本誠 (一般社団法人ノマドプロダクション 代表理事)
表町キュレーションズ 三宅直人	10/21 (金) 19:00-20:00 トークライブ 11/13 (日) 14:00-17:00 芝居上演会	哲学トークライブ& 芝居上演会 「私たちは表町で どんな夢をみているの だろうか？」 ～表町キュレーションズ の場合～	「舞台に立ちたい」「生まれ育った地元を元気にしたい」そんな個々の夢が交錯する表町キュレーションズの活動。それぞれの夢が、エンターテイメントやアートが、地域や社会の夢とどう交わりうるのか? 国際展が地域で開かれる意義は? また地域にどのような影響を与えるのか? 表町で活動に関わる高校生や協力者を招き、来場者のみなさんと対話を通して考え、披露の場も設ける。
倉敷芸術科学大学 中川浩一研究室 中川浩一	11/12 (土) 17:30-19:30	駅前「地球儀」 プロジェクト ～岡山芸術交流のメイン テーマを駅前噴水への プロジェクション マッピングで視覚化する～	岡山芸術交流2022のメインテーマを市民参加で視覚化。岡山駅前噴水「ふれあいの泉」(球形)への映像投影により「地球儀」を出現させ、同じ星の上、同じ空のもとに住まう自分たちを意識するインスタレーションを展開。制作には市民が参加、SNS連携も設定し、プロセス+リアルタイムにおいても市民参加の作品とする。
芸術学研究者/ 京都教育大学 非常勤講師 松本理沙	11/19日 (土) 16:00-19:00	「ともに生きる」 を考える: アピチャップン・ ウィーラセタクンと リジア・クラークを巡る ワークショップ	専門家によるレクチャーとワークショップを組み合わせた体験型プログラム。アピチャップン・ウィーラセタクンとリジア・クラークの研究を行う二人の専門家を招いて、岡山芸術交流2022出品作家の文化的背景や造形思想についての解説を交えながら、作品への理解を深める体験型ワークショップを行う。 来場者には、自分なりの考えを深めながら、能動的に作家や作品と関係していくことを体験することができる。
wineshop & stand slowcave 渡邊隆之	会期中	After 6 exhibition map	ワインを扱う飲食店を運営し、ソムリエでもある強みを活かし、岡山芸術交流の展示会場と周辺エリアのおすすめの飲食店をマップ化し、県内外、市内外から訪れる人に対し、岡山の食文化を提案する。鑑賞後の異なる時間の使い方を提案することで、展覧会中の街歩きを促す。 海外の鑑賞者へ対応するため、日本語と英語、二か国語表記とし、ベジタリアン等にも配慮する。

※各事業の詳細につきましては、岡山芸術交流2022公式サイトの「パブリックプログラム」ページに随時掲載予定です。